【特別無料レポート】

下落相場でも着実に年利50％を達成！
プロのトレード戦略とは

インターネット・インベストメント・テクノロジー（株）著

URL

http://www.kensyokun.com/method.html

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

１．ご挨拶

インターネット・インベストメント・テクノロジー株式会社です。

２００６年は厳しい相場だったのではないでしょうか。下落率も下落スピードもかつてないほど厳しいものでした。

さらに、２００７年もしっくりこない相場が続いています。

２００５年のような、買いポジションであれば誰にでも利益を出せた相場から一転して地獄を見た人も多かったのでしょうか。

実際、ライブドアショック以降の下落相場で、資金を半分にしてしまった投資家も非常に多いでしょう。

新興市場を中心に、多くの銘柄が半分以下の株価になったわけですから、それも当然です。

しかし、このような相場状況にあっても、毎年着実に利益をあげる方法があります。

当レポートでは、プロのヘッジファンドマネージャーでも採用している、下落相場でも上昇相場でも勝ち続けるためのトレード戦略を説明します。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

２．トレードで勝ち組になるためには

勝ち続けるためのトレード戦略を説明する前に、多くの市場参加者がトレードで勝てない理由を説明します。

(1) トレードはビジネスであると考える

多くの人がトレードで勝てない―――

まず、この事実を認識することから出発しなければなりません。

トレードで勝てない人にはいくつかの共通点が見られますが、良く当てはまる共通点として、「何の方針もなく、行き当たりばったり売買を行うこと」が挙げられます。

家電製品や自動車やマイホームを購入するときはそれらの性能や値段を自分でよく調べてから買うのに、トレードで資金を賭けるときはそれを怠ってしまうのです。

トレードで賭けるお金は通常大きな金額です。マイホームはともかく、少なくとも、家電製品や自動車よりは大きな金額でしょう。

そんな大金を賭けるのに、なぜ勝つための調査を怠ってしまうのか―――

「どんな調査をすれば良いか分からない。でも、儲けたい！」
「手っ取り早く儲けたい！でも、面倒な調べ物は嫌だ！」

おそらく、こうした理由からでしょう。我々からしてみれば、このような考えでトレードに臨んでいること自体信じられないのですが、これが事実です。

トレードで勝つための第一歩は、トレードはビジネスと考えることです。逆に言えば、勝てないトレーダーは例外なくこの感覚に欠けています。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

実際、勝ち続けているトレーダーで、

●誰でも簡単に
●らくらく儲かる

などと言う人を、我々は知りません。

優れたトレーダーというのは、

「とにかく、自分で考えて検証作業をすることが大切だ」
「人マネだけでは絶対に相場に参加してはいけない」

ということを口にします。間違っても、

「片手間でお小遣いを！」

というようなことは言いません。

片手間でお小遣いを稼げるくらいなら、日本中が専業トレーダーだらけですが、
そうなっていないのは、トレードの世界が厳しい世界だからです。

つまり、トレードはビジネスであると考えられる人だけが生き残れるのです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

(2)裁量トレードではなかなか勝てない！システムの導入を！

トレードを自己裁量の度合いという観点から分類すると、裁量トレードとシステムトレードという２つの立場が考えられます。

【裁量トレードの定義】
裁量トレードとは、一連の売買行動（タイミング、銘柄、金額）について、全て自己裁量で行うトレードである。

【システムトレードの定義】
システムトレードとは、一連の売買行動（タイミング、銘柄、金額）のうちの一部（もしくは、全て）について、自己裁量を入れず機械的に行うトレードである。

これらのメリット・デメリットはさまざまですが、我々の経験、および、人間本来の性格を考えると、裁量トレードで勝ち続けるのは至難の業であるということだけは断言できます。

なぜならば、一連の売買行動を全て自己裁量で行うということは、日々の株価変動に対して合理的な意思決定を常に求められますから、これは、思いのほか強い心理的プレッシャーがかかります。

そして、人間はお金が絡むと感情的になります。人間本来の性格を株式市場に持ち込むと必然的に損をするようになっているのです。

これは、株式市場における人間の心理特性・行動特性に関する研究をする行動経済学からも証明されております。

「利益は小さいが、損失は大きい」
「暴落局面で投げ売り、上昇局面で飛びつき買い」

このような経験はないでしょうか？

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

何の訓練もされていない人が裁量トレードで勝てると安易に考えてよい合理的な理由は見当たりません。

少なくとも、我々は他人に裁量トレードを勧めることについて積極的にはなれません。

過去の偉大なトレーダーや知り合いのトレーダーを見る限り、裁量トレードで勝ち続けるのは、オリンピックでメダルを取り続けることと同じくらい難しいと感じることさえあります。

アメリカの偉大なトレーダーであるジェシー・リバモアの例を出すまでもなく、最も才能がある部類のトレーダーでさえ突如破産することも有り得るのが裁量トレードの世界です。

いま騒がれているスーパートレーダーとて、どこかで破産する可能性がゼロであるという保証は全くないのです。

もちろん、勘や経験が重要ではないとまでは言いません。

しかし、一連の売買行動を全て勘や経験にまかせることが必ずしも良い結果を生み出すとは限らないというのは歴然たる事実です。

実際、人間の行動特性がトレードで損をするように出来ていることが行動科学の研究結果からも分かっています。

つまり、裁量トレードで勝ち続けられることが難しいのは、人間の本質、心理的要因なのです。

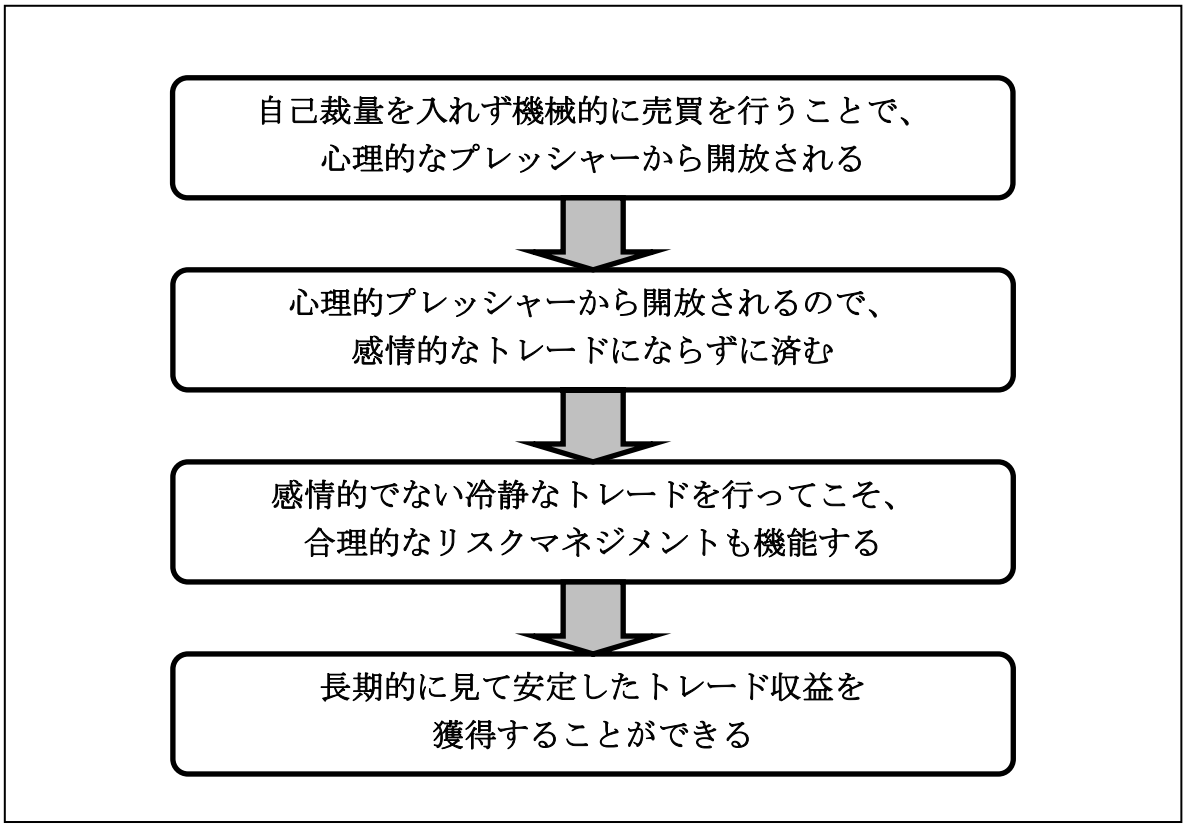
心理的な要因はちょっとやそっとでは修正ができません。今まで生きてきた中で身についた生活習慣を改めなければならないからです。

したがって、トレードで勝つためには、今までのあなたの行動特性を強制的に修正しなければならないのです。そのために必要なのが、システムを導入することなのです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

システムを導入することで、以下のようなメリットが得られます。

システムを導入することのメリット



トレードの世界で成功するためには、感情に左右されずにルールを守ることがもっとも重要です。

システムを導入することは、裁量トレードで勝てなかった負け組トレーダーが勝ち組トレーダーへ転向できるための唯一の可能性ではないでしょうか。

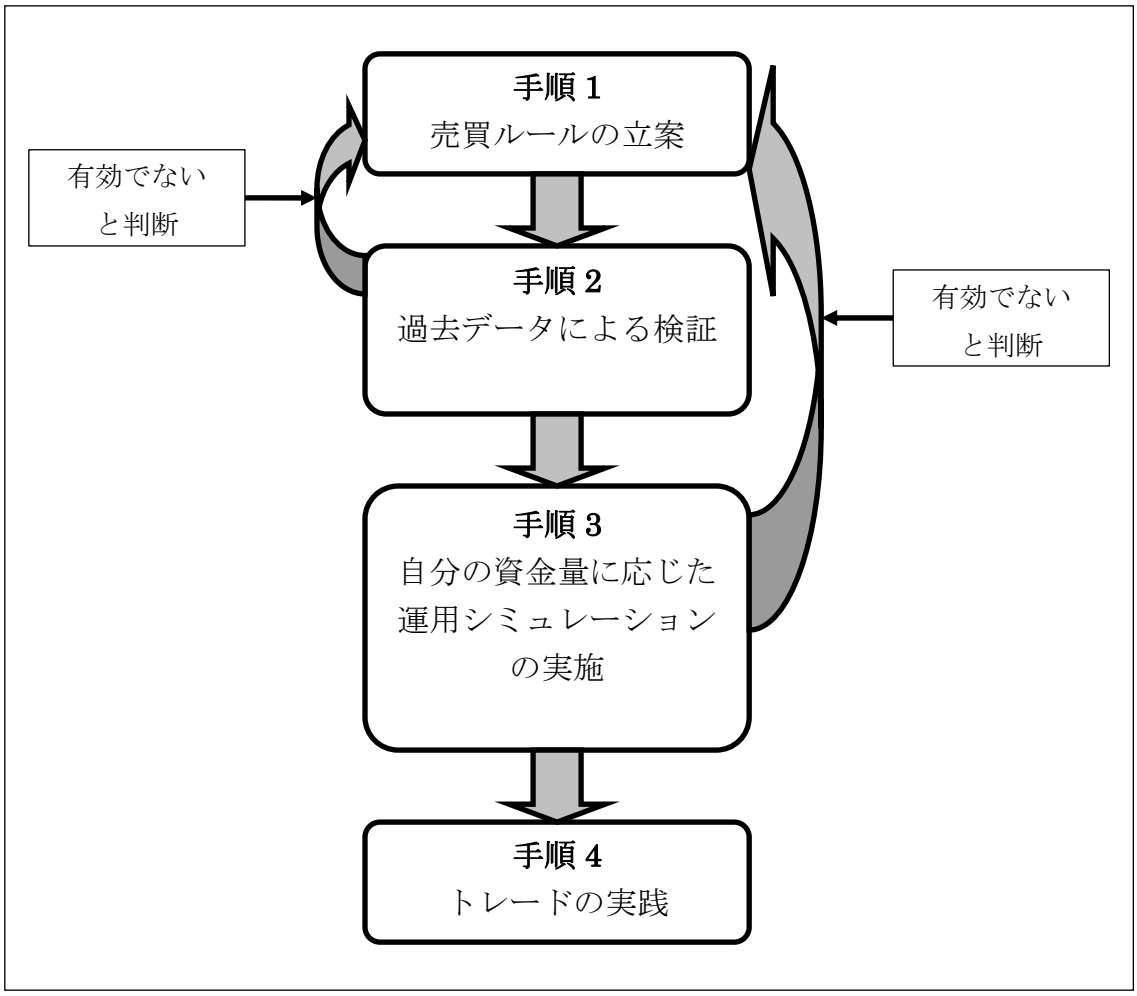
Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

３．システムトレードとは何か？

システムトレードとは、一連の売買行動（タイミング、銘柄、金額）のうちの一部（もしくは、全て）について、自己裁量を入れず機械的に行うトレードのことです。

システム構築の全体像は、以下のようになります。

システム構築の全体像



Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

(1) 手順１―――売買ルールの立案

はじめに、売買ルールを立案します。

売買ルールはコンピュータが処理します。したがって、コンピュータが正確に処理できる形で売買ルールを立案しなければなりません。

人によって異なる解釈の余地がある売買ルールでは、コンピュータは処理できないからです。

(2) 手順 2―――過去データによる検証

次に、過去データによる検証を行います。

これは、手順 1 で作成した売買ルールが有効であったかどうかを、過去の株価データで確認する作業のことです。一般的に、「バックテスト」と呼ばれる作業です。

バックテストの結果、有効でない売買ルールだと判断したら、手順 1 に戻ってやり直します。そして、有効な売買ルールが見つかるまで、手順 1 と手順 2 を繰り返します。

(3) 手順 3―――自分の資金量に応じた運用シミュレーションの実施

仮に、手順 2 で有効と判断するに足るルールが見つかったとしても、それだけでトレードを実践するのは危険です。

なぜならば、殆どのトレーダーには資金制約があるからです。

例えば、立案した売買ルールを満たす銘柄が同じ日に 300 出現した場合、1 銘柄トレードするのに 100 万円必要だとすれば、合計で 3 億円の資金が必要になります。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

もし、あなたが用意している資金が 1000 万円であれば、手順 2 のバックテスト結果をそのまま実行することはできません。

したがって、自分の資金量を考慮した運用シミュレーションを実施しなければ全く意味がありません。

自分の資金量に応じた運用シミュレーションを行って、それでも有効であると判断できて、はじめて実践で使える売買ルールとなるのです。

(4) 手順 4―――トレードの実践

バックテスト上の結果と現実の違いを踏まえた上で、トレードを開始します。

綿密に準備を行って、過去 10 年以上にわたって有効に機能している売買ルールですから、よほどのことが起こらない限り、簡単にルールを変えせずに売買を行うことが重要です。

途中でころころと売買ルールを変えてしまったら、システムトレードを行っている意味がありません。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

４．売買ルールの事例

ここでは、興味深い売買ルールの事例を２つ示します。

【ルール１】５日移動平均と２５日移動平均のクロスに基づいた売買ルール

①以下の条件を満たす銘柄だけを売買対象とする
　＊東証１部上場銘柄
　＊株価が１００円以上
　＊直近３０日間の売買代金平均が５０００万円以上

②以下の条件を満たしたとき、翌日の寄付で成行買いを行う
　＊５日移動平均が２５日移動平均を上抜けしたとき（ゴールデンクロス）

③以下の条件を満たしたとき、翌日の寄付で成行売りを行う
　＊５日移動平均が２５日移動平均を下抜けしたとき（デッドクロス）

④その他
　＊１回あたりのトレード予算は１００万円
　＊「買い」⇒「売り」のみで、空売りは行わない
　＊バックテスト期間は、１９９０年１月～２００６年１２月
　＊売買手数料はゼロとみなす

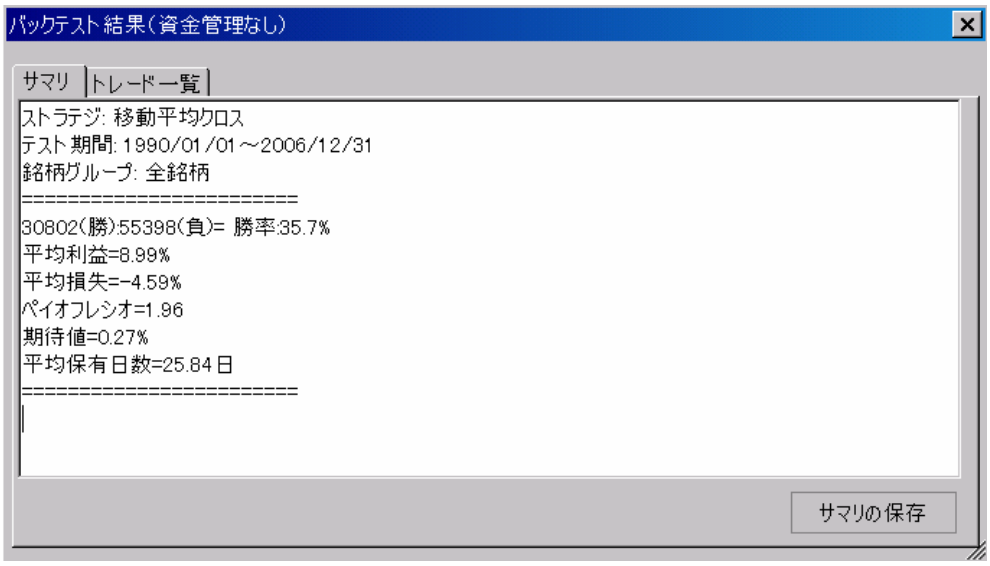
このルールは、典型的な順張りの売買ルールです。

つまり、上昇トレンドが発生した銘柄をトレンドが持続している限り、保有し続けることを狙ったものです。

問題は、「移動平均のクロス」という指標でトレンドをうまく捉えて儲けることが出来るかどうかです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

結果は、以下のとおりです。



上記の結果から、「５日移動平均と２５日移動平均のクロス」（いわゆるゴールデンクロスとデッドクロス）をシステムに取り入れたいでしょうか？

ハッキリ言って、こんな売買ルールを取り入れたいとは思いません。

※勝率が低い――――――勝率 35.7%
※期待値が低い――――――期待値 0.27%
※平均保有日数が長い――平均保有日数 25.84 日

という理由から、このシステムは優秀でないと判断します。

期待値 0.27%というのは、1 トレードあたり 100 万円の資金を賭けてトレードしたとき、わずか 2700 円しか儲からないという意味です。売買手数料を考えると、殆ど儲からないルールだということです。

しかも、わずか 2700 円のために、35.7%という低い勝率を許容しなければなりませんし、25.84 日もポジションを持っていなければならないのです。

リスクに見合わないリターンしか得られないのは明らかです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

【ルール２】ＲＳＩ（相対力指数）に基づいた売買ルール

①以下の条件を満たす銘柄だけを売買対象とする
　＊東証１部上場銘柄
　＊株価が１００円以上
　＊直近３０日間の売買代金平均が５０００万円以上

②以下の条件を満たしたとき、翌日の寄り付きで成り行き買いを行う
　＊ＲＳＩ（１４日）が２０より下

③以下の条件を満たしたとき、翌日の寄り付きで成り行き売りを行う
　＊ＲＳＩ（１４日）が８０より上

④その他
　＊１回あたりのトレード予算は１００万円
　＊現物取引のみ（「買い」⇒「売り」のみで、空売りは行わない）
　＊バックテスト期間は、１９９１年１月～２００６年１２月
　＊売買手数料はゼロとみなす

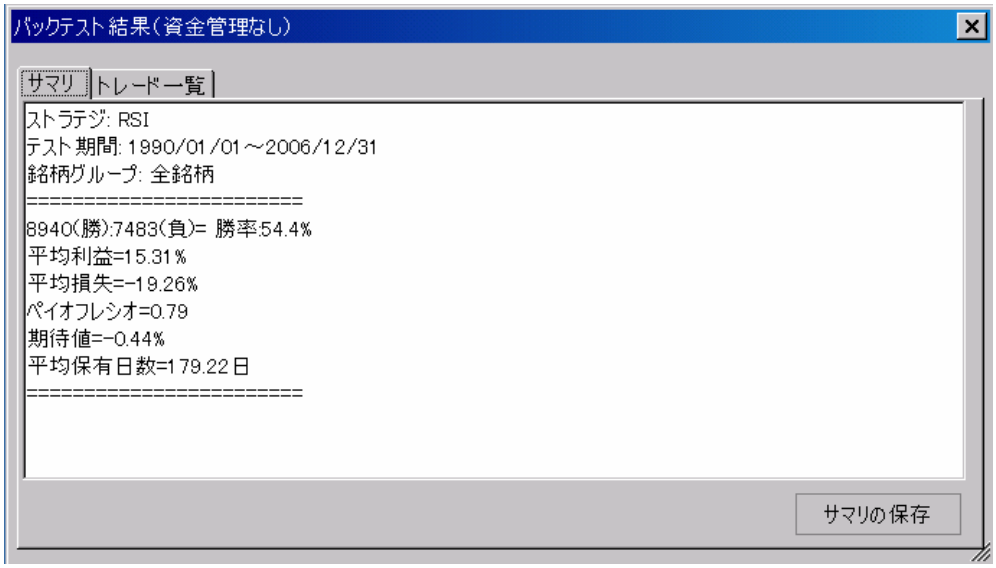
これは、典型的な逆張りの売買ルールです。

つまり、「売られすぎの水準になった銘柄を買い、その銘柄が買われすぎの水準になったら売る」ことを狙ったものです。

問題は、ＲＳＩという指標でそれをうまく捉えることが出来るかどうかです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

結果は、以下のとおりです。



上記の結果から、「ＲＳＩ（相対力指数）に基づいた売買ルール」をシステムに取り入れたいでしょうか？

※勝率が普通――――――勝率 54.4%
※期待値がマイナス――――期待値－0.44%
※平均保有日数が長い――平均保有日数 179.22 日

という理由から、このシステムは優秀でないと判断します。

そもそも期待値が－0.44%とマイナスになっているので、この売買ルールでトレードをすればするほど損をします。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

いかがでしょうか？

「移動平均のクロス」「ＲＳＩ」という簡単な売買ルールを事例にバックテストを行ってみましたが、それは有効でないと判断できたのです。

しかも、ここで取り上げた売買ルールの事例は、ほんの一部です。

実は、

巷で言われているテクニカル指標を厳密にバックテストすると、本当に有効な売買ルールというのは、非常に数が少ない

というショッキングな事実を、我々は既に確認しています。

しかし、９７％の人は、この事実を知りません。

つまり、

「移動平均のクロスが有効である」
「ＲＳＩが有効である」

などと、投資本や投資セミナーで言っていれば、それを鵜呑みにしてしまうのです。

でも、厳密なバックテストを行えば、それが如何に危険な行為であるかがすぐに分かるのです。

この投資情報業界には、実に、多くの無駄な情報（投資本やセミナー）が氾濫しています。

「このテクニカル指標が有効だ！」
「このテクニカル指標でトレードを行うと勝てる！」

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

という類の話が沢山あります。

カリスマトレーダーと呼ばれる人たちでさえ、この有り様です。

しかし、悲しいことに、そういう人たちの口からは、自分たちの売買ルールが有効であることを示す客観的な証拠は一切提示されません。

さんざん儲かると煽っておきながら、客観的な証拠は一切提示しないのです。

これでは、詐欺以外の何者でもありません。

つまり、この投資情報業界には、根拠のない主張をしているだけのインチキな情報がまかり通っているのです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

４．勝ち続けるためのルールとは？

「有効だと信じて疑わなかったテクニカル指標に基づく売買ルールが、実は、儲からない売買ルールだった！」

これは、ショッキングな話です

しかし、既に説明したように、投資情報業界には、このような類の話は普通にまかり通っています。

それでは、そうした情報に騙されてお金を失わないために、そして、安定して勝ち続けるためにはどうすれば良いのか？

バックテスト結果に裏付けられた、勝ち続けるためのルールに基づきトレードをする

これしかありません。

それも、

自分の資金量をきちんと考慮したバックテストを行って、それでも有効であるルールを見つける

ことが不可欠です。

有効な売買ルールを探すというのは、「長い間相場でメシを食っていけるための集金マシーンを作る」ことに他なりません。

それは、マーケットから好きなときに好きなだけお金を抜き取ることが出来る技術なのです。

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

それでは、そのような客観的なバックテストに基づいて、毎年安定した利益を上げ続けている売買ルールなど存在するのか？

それが、こちらです。

各年度、年初に資金500万円で運用スタートした場合のパフォーマンス

対象：1990年～2006年　日本株全銘柄
年平均リターン：95.8%
合計損益：+8147万円　　年平均損益：+479万円
勝率：79.8%　　期待値：7.2%

年	資産	損益	最大DD	勝	負	勝率	期待値	年利
1990	11,512,126	6,512,126	4.0%	78	8	90.7%	12.2%	130.2%
1991	5,519,932	519,932	5.8%	17	9	65.4%	4.0%	10.4%
1992	6,987,971	1,987,971	14.2%	43	14	75.4%	7.9%	39.8%
1993	7,049,229	2,049,229	7.5%	42	10	80.8%	8.4%	41.0%
1994	5,818,003	818,003	3.2%	23	9	71.9%	5.2%	16.4%
1995	5,074,484	74,484	19.0%	28	13	68.3%	0.3%	1.5%
1996	5,986,950	986,950	7.0%	43	11	79.6%	4.5%	19.7%
1997	14,106,166	9,106,166	13.1%	154	36	81.1%	9.2%	182.1%
1998	5,978,248	978,248	23.3%	52	12	81.3%	5.6%	19.6%
1999	18,166,281	13,166,281	14.1%	136	17	88.9%	11.7%	263.3%
2000	26,812,980	21,812,980	5.1%	214	15	93.4%	13.0%	436.3%
2001	6,654,874	1,654,874	19.8%	84	29	74.3%	3.8%	33.1%
2002	8,149,569	3,149,569	18.6%	54	15	78.3%	8.6%	63.0%
2003	11,198,912	6,198,912	9.4%	96	20	82.8%	6.9%	124.0%
2004	10,723,578	5,723,578	10.9%	79	16	83.2%	9.2%	114.5%
2005	6,252,426	1,252,426	25.7%	49	15	76.6%	5.3%	25.0%
2006	10,480,169	5,480,169	20.9%	135	26	83.9%	6.1%	109.6%

売買ルールの詳細は、ここで７００人限定で無料公開していますので、今すぐこちらを熟読してください。

http://www.kensyokun.com/method.html

最後に。あなたの成功を心より祈っております。

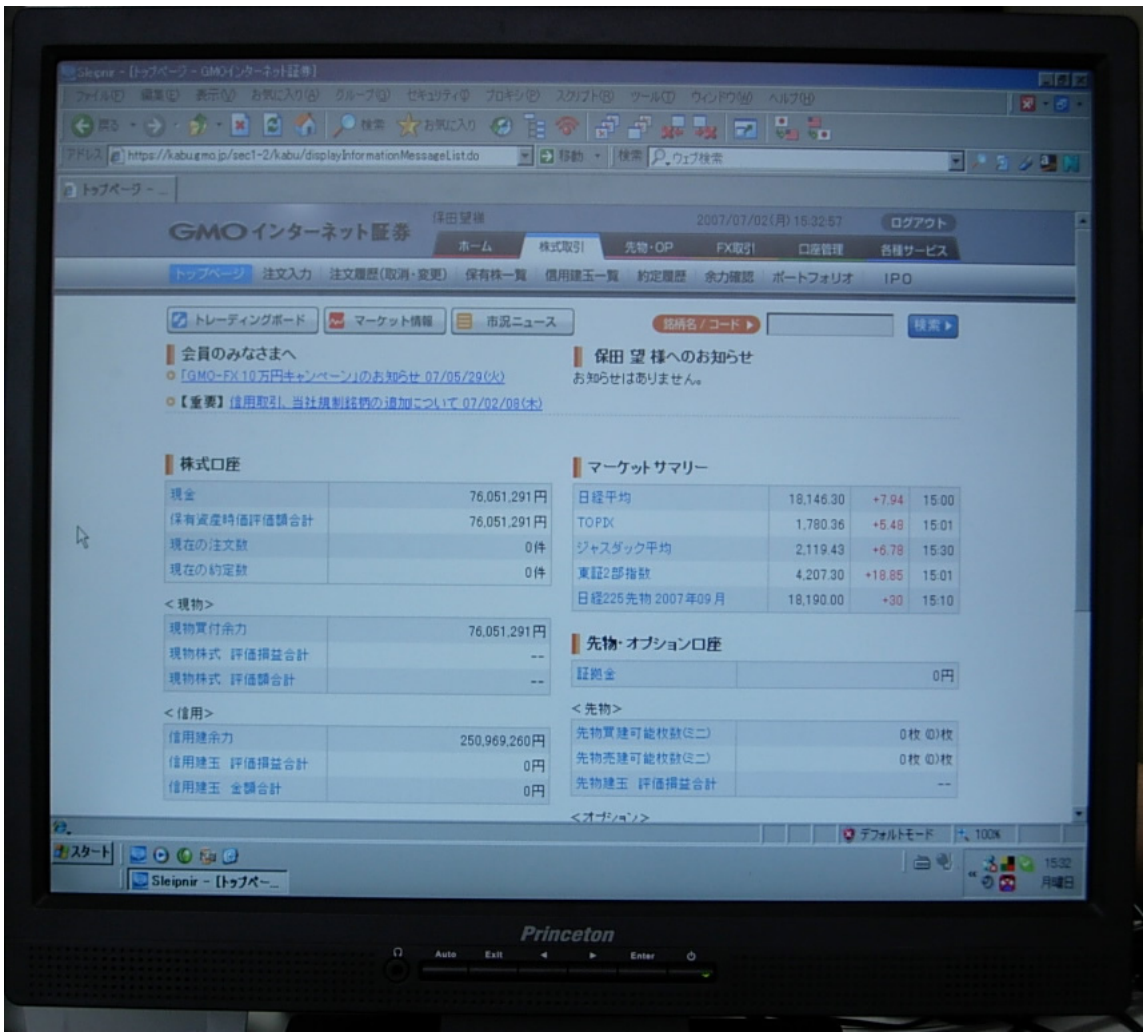
インターネット・インベストメント・テクノロジー株式会社

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html

【参考】我々が運用するファンドは、こちら。

運用開始（２００７年１月４日）―――：５，０００万円
現在　　（２００７年７月５日）―――：７，６０５万円

●年初来―――　＋５２．１％



（手数料、税金の都合から会社の自己資金を個人名義で運用しています。）

●半年で２，６０５万円を稼いだノウハウを、無料で公開します。

http://www.kensyokun.com/method.html

Copyright (C) e-システムトレード All Rights Reserved
http://www.kensyokun.com/method.html